



公立大学法人

和歌山県立医科大学

学部案内
2021

- 保健看護学部
- 大学院保健看護学研究科
博士前期課程
博士後期課程
- 助産学専攻科





大学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療、保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1804年、医聖華岡青洲が、曼荼羅華を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させ、乳がん摘出手術を成功させました。



新しいことに挑戦する心を常に持ち、既存の知識や技術を発展させることができる医療人を目指しませんか。

沿革

- 平成 8年 4月 和歌山県立医科大学看護短期大学部開学
- 平成 16年 4月 保健看護学部開設
- 平成 19年 3月 看護短期大学部閉学
- 平成 20年 4月 大学院保健看護学研究科修士課程及び助産学専攻科開設
- 平成 25年 4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
- 平成 26年 4月 大学院保健看護学研究科がん看護専門看護師コース開設

contents

大学の教育理念・沿革	1	大学院保健看護学研究科教育プログラム	19
学長・学部長メッセージ	2	大学院生からのメッセージ	21
保健看護学部教育プログラム	3	助産学専攻科教育プログラム	22
キャンパスカレンダー	12	修了生からのメッセージ	24
キャンパスライフ	13	学生サポート	25
クラブ紹介	15	図書館「三葛館」	26
在学生からのメッセージ	17	取得できる学位・資格	27
社会で活躍する卒業生	18	就職・進路	28
		三葛キャンパスマップ	29



医療系総合大学で看護の未来を学ぼう

本学の保健看護学部は、平成16年4月に医学部に次ぐ2つ目の学部として開設されましたが、令和3年4月に薬学部が開設され、本学は、医・看・薬の3学部を擁する医療系総合大学として新たなスタートを切りました。

看護系4年制大学が令和2年現在全国で287校が存在するといわれていますが、「保健看護学」を冠した学部はごく少数です。これには、看護の未来への期待として、医療の現場での質の高い看護はもちろんのこと、広く地域の中で疾病予防や健康支援に資する看護という意味を込めて「保健看護」なる名称がつけられました。全国看護系大学共通の学士課程のコアとなる学習目標である「看護教育モデル・コア・カリキュラム」において、「地域医療構想に基づく医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築により、地域におけるヘルスプロモーションや予防も含め、その役割や活動場所の多様化が進む中で、看護者には、様々な場面で人々の身体状況を観察・判断し、状況に応じた適切な対応ができる看護実践能力が求められている」として、本学部の開学時の精神と同様の意が述べられています。この意義を実現するために、平成20年には、助産学専攻科及び保健看護学研究科修士課程が、平成25年には博士課程が設置され、教育内容の充実とより専門性の高い教育の実践が行われて参りました。

本年からスタートする医・看・薬の3学部合同でのケアマインド教育等を通じてこれからの看護に求められる豊かなこころを涵養し、医療系総合大学ならではの充実した教育スタッフのもとで看護の未来を本学保健看護学部でぜひ一緒に学びましょう。



和歌山県立医科大学
学長 宮下和久

輝く保健看護職へのマイルストーン

保健看護職への道程は、保健看護の基礎教育から始まります。

保健看護学部は、人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようになっています。生活に焦点を当てるといことは、人々の生活の質をいかに高めるかに大きな価値を置いています。生活習慣病が増えている状況では、人々が病気や障害をもちながらも、いかに有意義な生活を送るかが重視されてきています。保健看護職は、健康の大切さを自覚し健康的な行動をするように保健指導をしますが、その際は、全人的な理解が要諦です。このために、保健看護学部は教養・基礎教育も充実しています。

保健看護学部は、1996年に開学した看護短期大学部を前身として、2004年に開学しました。以来、人間の理解を深め、人々の健康を支援するための基礎を教育し、問題解決能力、判断力、研究能力を高める専門的な教育も行い、数多くの保健看護職者を輩出してきました。その多くは、関西地域を中心に、看護師として病院で、あるいは保健師として都道府県や市町村、企業で活躍しています。また、養護教諭として学校で子ども達の健康管理に努めている方もいます。

保健看護職者の更なる展開として、高度臨床実践者、教育者、研究者があります。そこで、2008年に保健看護学研究科博士前期課程(修士課程)と助産学専攻科を開設し、2013年に博士後期課程(博士課程)を開設、また、2014年には博士前期課程の中のがん看護専門看護師コースを開設し、開学から10年間で保健看護職者への道程を確立してきました。

輝ける保健看護職者への最初のマイルストーン(中間目標地点)として、保健看護学部において学生一人ひとりが充実した学生生活を送る中で、豊かな人間性と主体性を育み、協調性に富む保健看護職者を育てていきたいと思ひます。



保健看護学部
学部長 森岡郁晴



教育理念

豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、先進的、高度な専門的知識と技術を教授し、科学・技術の進展と、健康・福祉に関する社会の要請に柔軟かつ創造的に対応でき、保健看護の実践、教育、研究など広い分野での活躍が期待できる資質の高い人材を育成します

教育目標

生命の尊厳と 幅広い教養を基盤にした 豊かな人間性と 高邁な倫理観の涵養

人を慈しみ、生命を愛し、人々の健康と幸せを支援することができるよう、基礎的知識・技術を学び、豊かな人間性と教養を兼ね備えた資質の高い人材を育てます。

種々の関連職種と チームワークができる 協調性に富む人材の育成

保健、医療、福祉の総合的な視野を持ち、種々の関連分野の人々と連携・協力して、全体を調整、管理できる能力を育てます。

個人を尊重し、 全人的理解と信頼関係を築く、 優れたコミュニケーション 能力の育成

住民とのふれあいを重視し、社会で生活する人間の理解を深め、人に学びながら、多様な情報を捉え、適切な判断ができる能力を育てます。

生涯にわたり自己啓発し、 社会の多様なニーズに 対応できる人材の育成

4年間の一貫教育の中で、自主性・主体性を育み、多様化する社会のニーズに柔軟に対応でき、新しい看護を切り拓いていける人材を育てます。



科学的思考力、 高度な専門的知識と 技術に基づいた実践力と 創造力の育成

医療の高度化、専門化に対応できる洞察力、判断力、実践力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手となる人材を育てます。



アドミッションポリシー (入学受入方針)

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
- 保健看護学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人
- 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

入学定員

- 学校推薦型選抜 / 30 名程度
- 一般選抜 / 前期：40 名程度
後期：10 名

カリキュラムポリシー (教育課程方針)

- 社会人として必要な教養とともに、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型学習による教育
- 保健看護に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育
- 保健看護の基盤となる領域において、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決型能力と看護方法および研究的思考を育成できる教育
- 保健看護の専門となる領域では、習得した看護の基礎を実際に活用・実践する技能を修得できる教育
- 臨地実習では、全ての領域を実習するとともに学内外で実習を行い、看護実践能力を含めた保健看護の力を獲得できる教育
- 地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる人材を育成できる教育



ディプロマポリシー (学位授与方針)

- 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる
- 看護の対象となる人々と信頼関係に基づくコミュニケーションや援助関係を築くことができる
- 看護の対象となる人を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにできる
- 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、これらを活用して健康課題の解決に取り組むことができる
- 保健医療福祉チームの一員として看護職間・他職種間・地域住民等との協働・連携を図るために主体的に行動できる
- 社会の動向とともに、地域的・国際的視野で多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けた創意・工夫ができる
- 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている

1年次から段階的に専門科目を学べるため、モチベーションがあがります。和歌山の地に密着した環境で、入学から卒業まで切れ目なく、質の高い看護教育を受けられ、成長する機会にあふれています。



カリキュラムの特徴

充実した教養、基礎教育

保健看護職には、全人的な人間の理解に基づいた人への思いやりや優しさが必要です。「教養と人間学の領域」では、学習意欲にあふれ、倫理的で思いやりのある人材を育て、豊かな人間性及び優れたコミュニケーション能力の育成を目的としています。個々の学生の様々な関心に対応できるように、選択履修科目を多数取り入れています。

人間理解を深め、人々の健康を支援するための基盤を形成

「保健看護学の基盤となる領域」では、保健看護学の土台となる「人間と生命倫理」「保健と福祉」「健康と病態」を学び、保健看護専門職の基盤を形成することを目的としています。

問題解決能力、判断力、研究能力を育てる専門教育

人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応できるように、洞察力、問題解決能力、判断力などを身につけることを目的としています。授業は、講義だけでなく、演習や実験、実習等を取り入れ、少人数による学習を積極的に取り入れ、体験的・自主的に学習できるように工夫しています。

保健・医療・福祉の包括的学習

人々の生活に視点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べるようにしています。実習では、暮らしを通じて学習できるように、病院のみでなく、保健センター、訪問看護ステーション、助産院、保育所、企業、介護老人保健施設などで実習できるようにしています。

医療入門（ケア・マインド教育）1年次



医学部、薬学部の学生とともに患者・家族の立場から物事を考えられる視点を養います

基礎看護学演習 1年次



対象者の健康状態をアセスメントするための基礎的知識とテクニックを学びます

教養セミナー 1年次



写真やキーワードから連想を広げ、自ら問題を発見し、情報収集と思考鍛錬を行う少人数ゼミです



授業科目

「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域で構成され、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な学習ができるようにしています。

和歌山県立医科大学保健看護学部カリキュラム

分野	1年次	2年次	3年次	4年次	
保健看護学の専門となる領域	総合保健看護	国際交流活動(演習) 地域交流活動(演習) (1~4年次の選択科目)	災害看護論	保健看護研究 I 保健看護研究 II 保健看護管理論 保健看護管理演習 国際保健論 保健看護英語 看護教育論	
	臨地実習	緑字は選択科目 ★マークは保健師コース必修 ☆マークは看護師充実コース必修 ➡は蓄積を示す 基礎看護実習 I 早期体験実習	基礎看護実習 II 統合実習 I	統合実習 II 公衆衛生看護実習 I・II★ 保健看護実習A(母性) 保健看護実習B(小児) 保健看護実習C(老年) 保健看護実習D(精神) 慢性期看護実習 急性期看護実習 在宅看護実習	
	健康障害と保健看護		慢性期看護論 I 急性期看護論 I リハビリテーション看護論 メンタルヘルス学 I 健康と看護	慢性期看護論 II 急性期看護論 II 終末期看護論 子どもと健康 高齢者と健康 メンタルヘルス学 II リエゾン精神看護学	
	ライフステージと保健看護 生活と保健看護	ライフステージと看護 生活の場と看護 I	性と生殖 II 公衆衛生看護活動論 I 公衆衛生看護方法論 I 生活の場と看護 II 家族と看護	学齢期の保健 女性と健康 公衆衛生看護活動論 II★ 公衆衛生看護方法論 II★ 在宅看護論	保健医療経済論★
	基礎看護	看護方法論 I(生活援助) ヘルスアセスメント 看護活動論 人間理解と看護 保健看護学入門	看護方法論 III(医療技術) 看護方法論 II(看護過程)	看護方法論 IV(癒しと看護)	
保健看護学の基盤となる領域	人間と生命倫理	発達心理学	人間関係論 生命倫理	医療哲学 精神療法(心理療法)	
	保健と福祉		保健統計学 公衆衛生学 産業保健論 環境保健論★ 社会福祉概論 社会福祉活動論 リハビリテーション	疫学 保健行政論	
	健康と病態	基礎病態学 健康科学 身体の構造と機能	慢性期病態学 I 慢性期病態学 II(小児) 急性期病態学 性と生殖 I 基礎薬理学 救急医療(災害医療含む) 病態栄養学 運動健康学	総合病態学 終末期医療 健康教育論★ 臨床薬理学☆	
教養と人間学の領域	教養セミナー コミュニケーション	教養セミナー 英語 I 英会話 情報処理演習 ケアマインド教育 中国語 情報科学 感性と芸術	英語 III 英語 II	英語 IV 医療コミュニケーション	
	人間の理解	こころの科学 人と倫理 文学 人間と文化			
	社会の理解	現代の家族問題 生活の科学と健康 経済学 法学(日本憲法)	(1~4年次の選択科目)		
	科学の理解	保健看護の物理学 保健看護の生物学 生命と遺伝 食の科学 食の科学演習 保健・スポーツ 運動の科学			

地域の人々との交流から
暮らしと健康との関連を学びます

早期体験実習 1年次



入学後の早期に、地域で生活している人々との関わりを通して、暮らしと環境について理解し健康との関連について学びます

地域保健演習 2年次



地域に住む人々の健康増進や疾病予防のための保健師の活動を学びます

【実習施設】

・和歌山県内の保健所、市町村保健センター

統合実習 I 2年次



地域で暮らす様々な発達段階の人々の生活を知り、健康な生活を守るための保健管理や生活環境のあり方について学びます

【実習施設】

- ・産婦人科クリニック
- ・保育所
- ・子育て支援事業所
- ・企業 等

公衆衛生看護実習 3～4年次
(保健師コース選択生のみ)



保健師コースは、48名の学生がコース選択します。和歌山県内の保健所、市町村保健センターに出向いて、住民の生活や環境から健康問題を捉え、それを解決するための方法を考え、実践します。地域を歩いて回ったり、家庭訪問をしたりするので、保健師活動を実践的に学べ、とても楽しいです。学生たちで考えた健康講座は住民のみなさんに大変喜ばれ、とてもやりがいがあります。

コース選択を希望する学生が多いと、成績で選抜されるのですが、ぜひチャレンジして地域の視点を深く学んでほしいです。



保健看護実習 A (母性)



新生児と母親の命を守ります

保健看護実習 B (小児)



子どもの成長・発達を支えます

保健看護実習 C (老年)



人生の先輩から生き方を学びます

看護を通して、人として成長します

保健看護実習 D (精神)



自己を知る事が心の看護の基本です

慢性期看護実習



療養生活を支える看護を学びます

急性期看護実習



術衣を着ると緊張感が走ります

在宅看護実習



自宅での療養を支えます

統合実習Ⅱ



自ら計画を立て、実施した実習の成果を発表します

和歌山県立医科大学附属病院を中心に 和歌山県内の医療・保健・福祉施設で学ぶ



和歌山県立医科大学附属病院には、医学・保健看護学・薬学を学ぶ学生が医療を体験・習得する医療教育機関としての性格と、高度な医療技術と優秀な医療スタッフによる優れた医療を地域社会に提供する中核的な医療機関としての役割があります。現代の高度な医療の進歩は目覚ましく、新しい医療の吸収と展開は、教育・研究を柱とする大学機関に附属する医療機関によってこそ可能です。常に優秀な人材の確保と医療システムの最適化を図り、広く地域社会に医療の還元を図ることが附属病院の使命です。

その他、和歌山県内の各施設が実習をサポート！

- ・和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- ・和歌山ろうさい病院
- ・ひだか病院
- ・南和歌山医療センター
- ・白浜はまゆう病院
- ・和歌山県立こころの医療センター
- ・和歌山県内の訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター
児童福祉施設、老人福祉施設、障害者福祉施設、企業 等



交流し、人間性を高め、異文化や多世代と

地域交流活動

地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを捉えます。ボランティア活動や本学独自の助成制度「学生自主カリキュラム」などの自主的な活動を通して、チームワークや行動力を養います。

大学が認定する地域交流活動に参加するとポイントが加算され、通算 20 ポイントを得た場合に単位を認定しています。

学生自主カリキュラム

学生が自らの自由な発想と意思で学びたい活動を計画し、生きた知識を獲得し、さらに学びを深めていくことを目的とした学習支援プログラムです。

三葛地区の子どもたちを対象にした健康教室

年 2 回、にぎやかな子どもたちの声が学舎に響き渡ります。大学付近の小学生を対象に、学生による健康教室や流しそうめん大会を行っています。子どもと関わるのが大好きな学生たちが集まり、楽しみながら健康について学べるように企画・運営しています。「こんなの知らなかった」「また来たい」と好評で、とてもやりがいがあります。この活動を通じて、子どもとの関わり方を学ぶよい機会になりますし、創意工夫する力や、臨機応変に対応する力が身につきました。 4 年生：赤坂風香さん 他 10 名



The Constitution of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference において研究発表



タイ王国で開催された国際学会に参加しました。国際的な公衆衛生についての研究成果に触れることで、自国の保健看護について学びを深めることができました。国際学会は英語で行われたので、質疑応答に苦戦しました。しかし、他国の方とのコミュニケーションは、とても勉強になりました。また、ブラパ大学、マヒドン大学を訪問し、大学を視察したり、互いの学生生活や研究について情報交換をしたりする機会を得ました。自分たちと同じ看護学生と交流することで、多くの刺激を受けました。

卒業生：稲垣真実子さん 他 7 名

<発表した内容>

- ・ Inagaki M et al: Factors related to the smoking cessation rates at eating and drinking establishments: Examination by municipality data
- ・ Onishi Y et al: Use of plastic-bottled beverages of nursing students in a university and awareness about microbial contamination in unfinished beverages

その他の学生自主カリキュラムのテーマ (令和元年度)

- ・ 沖縄の離島における医療の現状と看護職の役割を学ぶ
- ・ " 助産師になりたい私たちの夢と覚悟を形成する
～ エネルギッシュな開業助産師に学ぶ～ "
- ・ 和歌山県のへき地医療について知る
- ・ 和歌山県のへき地における保健師と住民とのかわり
- ・ 看護系大学生の学年別にみたペットボトルの汚染意識の状況
- ・ 和歌山県各市町村における飲食店の禁煙状況と地域特性との関連
- ・ 重度精神障害を持つ人への地域生活継続支援のあり方と看護師の役割

大学は、いつも学生の学びたいことを全力で応援してくれます。自分で動けば何でも挑戦できます。学生時代にしかできないことに取り組んで楽しみましょう。





看護学生フォーラム

看護学生フォーラムは和歌山県内で10校の看護学校の学生が集まり、学習と交流を目的として年1回開催されています。学生が主体となって、企画、準備、実施まで行っています。看護学生フォーラム委員は、11月に行われる看護学生フォーラムに向けて、各校の委員と協力し、4月から準備に取り組みました。令和元年は、「令和を背負う私たち」をテーマにし、学校紹介と初めての試みであるクイズ大会を行いました。前半の学校紹介では、和歌山県内にある各看護学校の看護に対する姿勢や地域とのかかわりなどの特色を知る機会となりました。後半は今までにない内容でクイズ大会を行いました。各校より1名から3名のメンバーを選出したグループをつくり、違う学校の看護学生同士が問題に対して話し合い、交流を深めることができました。



問題はフォーラム委員が作成し、実際の国家試験の内容や雑学などを盛り込まれたものを作成しました。各グループにはフォーラム委員が入りファシリテーターの役割をしてリーダーシップを発揮し、初対面でも和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めることができました。そして、この活動を通して新たな試みに挑戦する姿勢や連携の大切さなど今後に生かせる学びを多く得ることができました。1年間続けることの大変さはありませんでしたが、参加することができてよかったですと感じています。

和歌山県看護学生交流会運営委員 4年生：深田杏さん 他7名

国際交流活動



教育・研究両面で活発な交流

<主な協定状況>

昭和61年	山東大学（中国）	学術交流
平成16年	山東大学（中国）	学生交流
平成18年	本学に国際交流センターを設置	
	マヒドン大学（タイ）	学術交流・学生交流
平成19年	香港中文大学	学術交流・学生交流
平成25年	プラパ大学（タイ）	学術交流・学生交流
平成28年	ヤンゴン看護大学（ミャンマー）	学術交流

☆山東大学（中国）と香港中文大学とは協定を締結して以来、両大学の学生が相互に訪問し、積極的に交流しています。

アメリカ糖尿病キャンプには毎年4名の学生を派遣しています

アメリカ糖尿病キャンプでの研修に参加して

日本の生活とは異なった文化で生きる人々と関わることで、目の前の人を理解する姿勢や自分の固定観念にとらわれないことの大切さなどを学びました。また、日本とアメリカにおける医療の違いや最先端の糖尿病治療、子どもたちがどのように病気と向き合い、生活を送っているのかなど、学校では学ぶことができない貴重な体験をさせていただき、参加してよかったと心から思います。

本学では自分の学びたいことを先生方のサポートのもと柔軟に取り組むことができます。みなさんも本学での学生生活で様々なことにチャレンジしてみてください。

4年生：井上ゆなさん 岩根朱里さん



香港中文大学学生茶道体験



地域社会に貢献できる人材を育成します

保健看護研究 II (3年次後期～4年次)

日常や看護の素朴な疑問や関心を研究課題とします。観察力と着想、その課題に最もふさわしい研究手法の選択、研究計画書の作成、実施など、研究のプロセスを学びます。

さらに、1年かけて取り組んだ研究の成果を学内で発表します。国内外の学会で発表し、論文を学術雑誌に投稿することも大切です。研究成果を世に公表して、看護学の発展につながるような価値ある研究を進めていきます。

岩根ゼミ
レポート



先生方の専門領域はそれぞれ異なり、自分の興味や関心のある先生のもとで、ゼミ研究を行います。

3～4人のグループで、自らテーマを選定し、疑問に思ったことや理解を深めたいことを探求していきます。

岩根ゼミでは、手浴の効果の研究をしています。手を温めることが私たちの身体にどのような影響があるかを調べています。実験環境を整えることが難しく大変ですが、自分たちの研究が看護に役立つ可能性があるのも、とてもやりがいがあります。



大学運営に学生が積極的に参画

学生たちの若い力と柔軟なアイデアで、様々な課題を解決していくことができると期待しています。今後、大学の運営に学生が参画できる機会を増やし、よりよい大学を目指すとともに、地域社会のリーダーとして貢献できる人材を育成します。

自治会活動

自治会では学生生活をより良いものにするために学生主体での活動を行なっています。例年新入生に向けてのウェルカムパーティーや卒業生・退職される先生方へのプレゼントを用意しています。今年度は感染症の蔓延により様々なイベントを中止せざるを得ない状況でしたが、より良い学生生活に向けて自治会メンバーと一緒に悩み考えた経験は貴重なものだと感じています。

3年生：宇治田侑佳さん

防災ワークショップ



大学や地域の防災対策について、学生と教員と一緒に検討しています。防災マニュアルを整備し、避難ルートを確認する等、防災意識が高まっています。



- 4月

入学式・オリエンテーション 早期体験実習
前期授業開始
健康診断

1年次生
- 5月

保健看護実習 A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
公衆衛生看護実習 II
(4年次生)
- 6月

↓
- 7月

前期試験
(2・3年次生)
オープンキャンパス
- 8月

夏期休業
- 9月

授業再開
前期試験
(1・4年次生)

基礎看護実習 II
統合実習 I
(2年次生)
統合実習 II
(4年次生)
- 10月

後期授業開始
大学祭

保健看護実習 A・B・C・D
慢性期看護実習
急性期看護実習
在宅看護実習
(3年次生)
- 11月

↓
- 12月

保健看護研究 II 発表会
(4年次生)
冬期休業
- 1月

授業再開
総合評価試験
(4年次生)

基礎看護実習 I
(1年次生)
公衆衛生看護実習 I
(3年次生保健師コース)
- 2月

後期試験
看護師・保健師国家試験
開学記念日 (2月20日)
- 3月

卒業式
春期休業





共に高め合える仲間と共に看護観を磨く

近藤 萌さん (3年生)



看護師になるために必要な知識や技術を学ぶことができるとともに、部活動や課外活動などを通して医学部との交流もでき、幅広い人間関係の中で、充実した学生生活を送ることができる大学です。

◎印象に残っている授業

・オンラインでの遠隔授業

新型コロナウイルスの影響で、対面授業から遠隔授業に変わりましたが、チャット機能や出席シートで質問ができ、その質問に対して十分なフィードバックをしてくださるので、遠隔であっても十分に学習することができます。また、オンラインを利用したグループワークをする講義もあり、直接対面していない状況でも画面を共有し、意見交換をするなど、通常時と変わらず学習できています。さらに、遠隔授業を録画してくれているので、復習をされていて理解が不十分な所は見返すなど、遠隔授業ならではの学習ができています。

・ケアマインド

ケアマインドは医学部と合同で行われます。実際にALSやB型肝炎の患者さんの講義を受けることができ、患者さんの生の声を聞くことができるとともに、医療者の立場からどのような支援が必要かなどを医学部・保健看護学部合同のグループで考え、医療者のあり方を考えることができました。

また、各グループで作成したポスターをもとに発表を行い、他のグループの意見を知ることができ、より学びを深めることができる講義でした。



部活動の大会で県外にも行き、頑張っています。

西 彩里さん (3年生)



住み慣れた和歌山で地域に根ざした看護を学びたいと思い、また、保健師の資格も取得できるところが魅力的に思い、受験しました。

◎カリキュラムについて

1・2年生では講義を中心に学び、年に1回附属病院で実習があります。3年生では、後期から始まる臨地実習に向けての準備を進めていき、忙しくなってきます。今年は、対面授業とオンラインを併用して授業が行われていました。

◎印象に残っている実習

1年生の附属病院で行った基礎看護実習Ⅰが印象に残っています。初めて、実際の患者さんと関わり、それまでの講義で学んだことを生かそうと思い臨みました。しかし、自分の未熟さやコミュニケーションの難しさを感じ、落ち込むこともありましたが、その時に、担当の先生が親身になってくれることや、グループのメンバー皆で励まし合えることが心の支えになっていました。仲間の大切さに改めて気づくことができ、絆も深まった忘れられない実習になりました。

部活動も積極的に参加し、楽しんでいきます。



◎保健看護学部の魅力

大病院で実習ができることや学部内にも演習室があり、必要な看護技術を習得することができる場所です。課外学習として、演習室を使用し看護技術の練習を行うなど、自分の納得がいくまで看護技術を習得することができます。また、演習では看護学の先生に指導をしていただき、より着実に習得することができます。図書館が保健看護学部キャンパスと医学部キャンパスにあり、多くの専門書などがあるので、実習前やテスト勉強などの学習がしやすい環境です。また、先生との距離が近く、学業で悩んでいることなどの相談がしやすいところも魅力の1つだと思います。さらに、1年生では、教養の講義が多く、専門の講師の方に講義をしていただけるので、生命倫理や生物学、文化などさまざまな教養を身につけることができます。

授業や部活動を通して医学部との学部を超えた交流もあり、今年からは薬学部も新設され、さらに多くの人と交流が深められると思います。先生方も相談しやすく、親身になってくださいます。また、1学年80人と少人数で、講義・実習時に手厚いサポートが受けられ、学年が上がるごとに友達との仲も深まっていきます。部活動も盛んに行われており、優しく頼りになる先輩がたくさんいます。学部・学年を超えた関わりができる機会も多く、大学生活がより豊かに、充実したものになると思います。



土山唯さん (4年生)

「人との出会い」を通して看護を深める



◎臨地実習について

3年生9月～4年生7月の期間内にて2～3週間単位でローテーションし、様々な病棟や地域に出向いて領域実習を行います。学内で勉強をしたり、まとめやカンファレンスを行う日もあります。また、実習と実習の間にあるインターバルでは、ゆっくり身体を休めたり、趣味を楽しんでリフレッシュしています。

実習を通して、患者さんとの関わりの中で、それぞれの生き方や生活背景に実際に触れることができ、疾患や病状に注目するだけでなく、家族や社会的背景などを含めた広い視野で対象者を捉える重要性を学びました。その上で本当に個別的な看護とは何か、どのようにアプローチをすれば効果的な介入ができるのだろうかなどを考え、試行錯誤しています。

今後も、対象者一人ひとりに誠実に向き合い、日々変化する世の中の情勢に応じて想像力を働かせながら看護観を深めていきたいと思っています。

軽音楽部”The Swinging Cells”に所属し、トロンボーンを演奏しています！入学当初は初心者でしたが、今ではソロもこなせるくらいに上達しました！



1年生から3年生の前期までは講義を中心に学び、3年生後期からは本格的に始まる臨地実習に向けて、日々授業や課題学習など忙しくなります。4年生では、臨地実習や保健看護研究に加え、就職活動や国家試験があり大変ですが、仲間と励まし合ったり、息抜きをしながら取り組んでいます。



大学から附属病院までは自転車で5分。実習後は大学に戻って学習していました



図書館には、医学・看護に関する資料が豊富なので、レポートや実習前の下調べ、テスト勉強などにおいてよく利用します。

◎余暇の過ごし方

ピアノを演奏したり、好きなアーティストのLIVE映像を観たり、小説や漫画を好んで読んでいます。また、映画鑑賞だけでなく、自分で絵を描いたりすることもあります。

あまりアクティブな方ではないので、家で楽しめる趣味が多く、最近は料理や切り絵など趣味の幅を広げることが楽しみとなっています。

◎保健看護学部の魅力

様々なボランティア活動が展開されていることです。私は、ミュージックボランティアクラブを中心に活動し、病院内でのコンサートや和歌山県難病の子ども家族会等のイベントに参加したり、学生自主カリキュラムにて三葛地区の子どもたちとの交流を深めたりしています。これらの活動で得られる学びや発見は、その場でしか体験することができません。活動を通して関わった友人や先生、関係者の方々、何より生きた学びを与えてくださる地域の方々との繋がりを大切にしていきたいと思っています。



[文化系]

- 茶道部
- わくわく子育て部
- ミュージックボランティアクラブ
- 手話サークル milk
- 軽音楽部
- 美術部
- 音楽研究会
- ESS 部
- 演劇部
- Wakayama Will (災害ボランティアサークル)
- アカペラ部
- 釣魚部
- 米国医学研究会 × USMLE



Wakayama Will



演劇部



軽音楽部

医学部と合同の活動もあり
勉強の合間に楽しんでいます



手話サークル milk



ミュージックボランティアクラブ



[体育会]

- 卓球部
- 柔道部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 準硬式野球部
- 合気道部
- 空手道部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- ラグビー部
- フットサル部
- 水泳部
- 漕艇部



剣道部

一緒に泣いて笑える仲間を作ることができます



バスケットボール部



合気道部

文武両道! /



バレーボール部



空手部



漕艇部



卓球部



和歌山県立医科大学 保健看護学部ってどんな学部ですか？



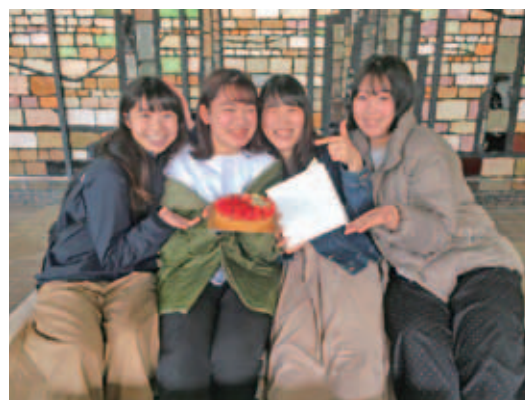
先生方がとても親身に学生一人一人をサポートしてくれます。人生経験豊かな先生方との話は、私たちの考え方や生き方に影響を与えてくれます。実習で疲れたときには優しい先生の声かけに癒され、またがんばろうと思えます。



部活動やサークルを通じて交友関係が広がり、大学の色々な情報が得られます。また、医学部生とも交流できるので、お互いに高め合えます。
もうすぐ薬学部もできるので楽しみですね。
後輩「何でもアドバイスしてくれる頼れる存在です」
先輩「後輩がいることでもっとしっかりしようと思えます」



サイコーの仲間に出会えます。戦友みたいなもので、みんなががんばっているから自分もがんばれます。勉強、実習、遊び、すべてが大切な思い出です。



アットホームな大学です。学年の人数が少なく、先生との距離が近くて相談しやすいところが魅力です。大阪からも通いやすく、思っていたよりも飲食店などが多くて、便利です。私たちと一緒にキャンパスライフを楽しみましょう。



1年次から専門の講義があり、自分の夢に向かって着実に布石を打っていくことができます。医学部との講義や看護演習、附属病院での実習。どれも他学生や教員、現場の看護師さんから生きた学びが得られ、憧れの看護師、保健師に近づいていることを実感しています。



高校からの友人がいないことや、男子学生が少ないことで、入学時は4年間やっていけるか不安が大きかったです。でも、小規模の大学なので、男女関係なくすぐに打ち解けて、楽しく過ごしています。看護師として男性にしかできないことがあると思うので、自分なりにできることを見つけてがんばります。看護の分野でもっと男性が増えると嬉しいですね。



看護師 佐藤美月さん (令和元年度卒業生)



和歌山県立医科大学附属病院 勤務2年目

私は看護師として地域に貢献したいと思い本学に入学しました。学生時代は臨床実習で多くのことを経験し学ぶことができました。それに伴い学習や試験など大変辛いこともありましたが、私は部活動にも励んでいたため、息抜きをしながら仲間と共に学生生活を楽しむことができました。現在は心臓血管外科病棟で働いています。社会人になると学生時代とはまた違った辛さもありますが、同僚や職場環境にも恵まれ、今では大学生活で培った知識が働く上でも役に立っていることを実感しています。

社会に羽ばたき自分らしさが花開きます

保健師 吉見日菜さん (平成29年度卒業生)



和歌山県新宮保健所 勤務4年目

私は保健所で2年間難病業務を担当し、現在は精神保健福祉業務を担当しています。相談対応、関係機関との連携調整などやることは盛り沢山です。保健師になって、1対1の関わりから家族、地域とより視点を広げてみることで、この地域にあった支援の展開を考えていくことの大切さを感じています。また地域の課題を考えるには関係機関の協力も欠かせません。ケースや地域を見る視点、コミュニケーション能力は、学生時代に培った基礎が役立っています。明確な答えがないことも多いですが、対象者から学び、悩み、成長しながら日々頑張っています。

養護教諭 堀口紗希さん (平成30年度卒業生)



新宮市立熊野川中学校 勤務3年目

私は、中学校で養護教諭（保健室の先生）として働いています。学校に一人の専門職ゆえに困難もありますが、多くのやりがいを感じています。保健看護学部は、看護師、保健師、養護教諭の免許を取得できるため、様々な実習を経験でき、就職先の選択肢を広げることができるのも魅力のひとつです。子ども達の健康問題が多岐にわたる現代、看護師免許を持った養護教諭の需要は高まっています。講義や実習で得た幅広い知識と豊富な経験は、養護教諭として働くうえで日々活かすことができ、改めて大学での学びは一生ものであると実感しています。



学部での学びをさらに発展させます

保健看護学の未来を担う、高度臨床実践者・教育者・研究者を育成します。

教育課程	博士前期課程保健看護学専攻		博士後期課程 保健看護学専攻
	論文コース	がん看護専門看護師 コース	
教育理念	<p>広い視野と高邁な倫理観に立ち、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・介護・福祉に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野相互の連携の重要性が理解できる資質の高い保健看護職者と健康関連専門職者を育成する。</p> <p>また、本学保健看護学部の使命である「地域に根ざした保健看護学の考究」の推進者として、地域の人々の健康の保持増進、疾病・障害に伴う諸問題を含め、倫理的・科学的な研究に対する意欲をもち、自律して質の高い計画を立案・実行し、社会のニーズに柔軟かつ豊かに対処することができる健康づくりに関わる専門職業人として能力の向上をめざす。</p>		<p>広い視野と高邁な倫理観に立って、人間の尊厳を重視する保健看護学の教育・研究を進め、保健・医療に対するニーズに先駆的に対応し、健康に関係する様々な分野における健康づくりに寄与できる教育・研究者を育成し、地域における人々の健康に貢献する。</p>
アドミッション ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学分野における専門性を高めるための研究に意欲をもつ人 保健看護学以外の領域で学んだ知識と技能を保健看護学の研究へ応用、発展しようとする人 本課程で学ぶ知識と技能を医療や医療以外の領域へ応用、発展しようとする人 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人 		<ol style="list-style-type: none"> 保健看護学に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人 保健看護学の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人 保健看護学への貢献を研究的視点にもつ人 保健看護学の専門職業人として、高度な専門知識の更新、リカレント教育に取り組もうとしている人
専攻領域	<input type="radio"/> 健康科学領域 <input type="radio"/> 基盤看護学領域 <input type="radio"/> 生活・地域保健学領域	<input type="radio"/> 基盤看護学領域 <input type="radio"/> がん看護学	<input type="radio"/> 生涯保健看護学領域 <input type="radio"/> 地域保健看護学領域
選抜方法	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜	<input type="radio"/> 一般選抜 <input type="radio"/> 社会人選抜
入学試験	一般選抜、社会人選抜ともに英語、専門科目、面接を行う		
入学定員	12名		3名
修業年限 ^(*)	2年	3年	3年
取得できる 学位・資格	修士（保健看護学）	修士（保健看護学） がん看護専門看護師認 定審査受験資格	博士（保健看護学）
学生支援	日本学生支援機構による奨学金制度（社会人は申請することができません。）		

(*) 長期履修制度あり



博士前期課程（修士課程）

健康科学領域

身体的、精神的、社会的側面から「健康」をとらえ、関連する諸科学において学際的に探求する領域

専攻分野

- 健康増進学
- 運動器疼痛リサーチ & マネジメント学
- 発育・育成学
- メンタルヘルス学
- 社会予防疫学
- 対人援助コミュニケーション学

基盤看護学領域

看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践者、研究者、教育者の育成を目指す領域

専攻分野

- 基礎看護学
- 高齢者看護学
- 慢性看護学
- 急性看護学
- がん看護学

生活・地域保健学領域

家庭、地域、職域等、人々の生活の場における健康づくりのプロフェッショナルを育成する領域

専攻分野

- 母性保健学
- 小児保健学
- 地域看護学
- 在宅ケア看護学
- 環境保健学

授業科目

■ 共通科目（必修）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・保健看護学研究法
- ・英語文献講読
- ・保健看護情報統計学

論文コース

- ・特別研究

がん看護専門看護師コース（必修）

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント
- ・病態生理学・課題研究

■ 共通科目（選択）

論文コース、がん看護専門看護師コース共通

- ・ヘルスケアエシックス・保健看護学概論
- ・健康マネジメント政策論・看護教育論・看護管理論
- ・看護理論・コンサルテーション論・健康測定評価論
- ・健康栄養学・家族看護学・医療と法

論文コース

- ・臨床薬理学・フィジカルアセスメント・病態生理学

■ 健康科学領域

- ・健康増進学特論
- ・健康増進学演習
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学特論
- ・運動器疼痛リサーチ & マネジメント学演習
- ・発育・育成学特論
- ・発育・育成学演習
- ・メンタルヘルス学特論
- ・メンタルヘルス学演習
- ・社会予防疫学特論
- ・社会予防疫学演習
- ・対人援助コミュニケーション学特論
- ・対人援助コミュニケーション学演習

■ 基盤看護学領域

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・高齢者看護学特論
- ・高齢者看護学演習
- ・慢性看護学特論
- ・慢性看護学演習
- ・急性看護学特論
- ・急性看護学演習
- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ*
- ・がん看護学実習*
- ・がんリハビリテーション看護 A・B*
- ・緩和ケア A・B*

*がん看護専門看護師コース必修

■ 生活・地域保健学領域

- ・母性保健学特論
- ・母性保健学演習
- ・小児保健学特論
- ・小児保健学演習
- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・在宅ケア看護学特論
- ・在宅ケア看護学演習
- ・環境保健学特論
- ・環境保健学演習

博士後期課程（博士課程）

生涯保健看護学領域

- 母子保健看護学
- 成人期保健看護学
- 高齢期保健看護学

地域保健看護学領域

- 地域保健看護学

授業科目

■ 共通科目（必修）

- ・保健看護学研究法
- ・後期特別研究

■ 共通科目（選択）

- ・健康管理論
- ・生活支援看護学

■ 生涯保健看護学領域

- ・母子保健看護学特論
- ・成人期保健看護学特論
- ・高齢期保健看護学特論

■ 地域保健看護学領域

- ・地域保健看護学特論



大学院生からのメッセージ



柴崎光彦さん（博士前期課程 2年生）

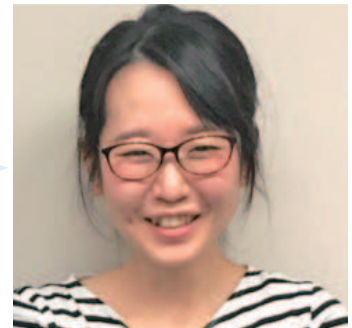
「さまざまな知識に触れる機会を一緒に楽しみましょう！」

私は6年臨床を経た後、大学院へ進学しました。きっかけは大学生の時、先生から臨床を経験した後、自分の看護観の振り返りをすると、視野が広がり人生が豊かになると教えがあったからだと思います。今、看護の振り返りや看護研究を通じてさまざまな知識に触れる機会を楽しんでいます。臨床での多忙で、ルーティン化された業務の中に、看護師としての行動、考え方をもって仕事をしていたのだという気づきもありました。今後もこの学びをもとに看護を楽しみながら仕事をしていきたいです。

木下あずなさん（博士前期課程 2年生）

「学べる環境があることはとても幸せです！」

本学保健看護学部を卒業後は附属病院HCUで看護師をしていました。現在は学業を主に、診療所で働いています。「学ぶ」ことで、知識を通して世界と繋がっているように感じられ、毎日とても楽しいです！臨床の場での「何か変」や「こういう時はこうなるよね」といった経験則的な出来事の裏には、明らかにすべき智慧がまだまだあるのでは？と感じます。未熟者ですが、目の前の患者さんが教えてくれる尊い経験を、未来の患者さんに繋いでいけるような、そんな力を養えたら、最高にエキサイティングなことと思います。



石徹白しのぶさん（博士前期課程 2年生 がん看護専門看護師コース）

「知識を深化させることを一緒に楽しみましょう！！」

私は長い臨床経験を経て、博士前期課程のがん看護専門看護師コースに進学しました。経験を積んだからこそ知識が深化することもあり、若い仲間と共にプレゼンテーションやディスカッションを行うことで様々な価値観にも触れ、学ぶことを楽しんでいます。協力いただいている職場や家族に感謝しながら、難化する医療界の中で、医療を受ける人々やその家族、医療機関で働く人々、地域の人々への貢献を目指していきたいと思っています。

特別研究修士論文発表会



大学院研修セミナー





女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアができる専門職を育成します。
また、人との出会いとふれあいを大切にしたい教育を目指します。

目的

助産学専攻科は、幅広い教養と豊かな人間性を育み、助産及び母子保健全般に関する高度な知識と優れた技術を教授研究し、保健医療の向上に寄与することのできる人材を育成し、もって地域の母子保健の発展向上に寄与することを目的としています。

教育目標

1. 生命の尊厳と高邁な倫理観をもつ人材を育成します。
2. 高度な専門的知識と科学的思考力を養い、安全な技術が提供できる実践力ある人材を育成します。
3. 女性の生涯にわたる健康づくりを支援し、地域の母子保健の発展に貢献できる人材を育成します。
4. 助産師として自律し、専門職として自立した役割を遂行できる人材を育成します。

アドミッションポリシー

- 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人
- 助産学を修得するための幅広い能力を有する人
- コミュニケーション能力を備えた協調性の高い人
- 地域母子保健に関心があり、国際的視野を希求する人
- 生涯にわたって自立と自律をめざす人

修業年限 1年

入学定員 10名

実習施設

【病院】

和歌山県立医科大学附属病院
独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院
ひだか病院
医療法人稲祥会稲田クリニック

【助産院】

岡本助産院
ちひろ助産院
むとう助産院



授業科目一覧

授業科目		単位数		修了要件
		必修	選択	
基礎領域	助産学概論	1		必修 33単位 選択 2単位以上
	妊娠期の異常	1		
	分娩・産褥・新生児期の異常	1		
	乳幼児ケア論	1		
	生殖医療と生命倫理	1		
	親子関係発達論	1		
	母子の栄養学	1		
実践領域	助産診断・技術学Ⅰ(妊婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅱ(産婦)	2		
	助産診断・技術学Ⅲ(母子)	2		
	助産診断・技術学Ⅳ(思春期・更年期)	1		
	健康科学教育論	1		
	助産管理	2		
	成育医療	1		
	助産学実習	12		
	助産管理実習	1		
産科救急・新生児蘇生法	1			
関連領域	助産学研究	1		
	女性のメンタルヘルス		1	
	アクティブバースへのケア		1	
	助産師と国際活動		1	
合 計		33	3	35単位以上

母子の生命を守り、子どもが健やかに成長するための責務を果たすという使命感を育み、助産学ならびに関連する領域の知識・技術を統合的に修得できる科目で構成しています。

また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを基盤に、女性の性・生殖に関する心身の健康づくりを支援できる基礎的能力を育成する科目構成をしています。



主な年間スケジュール

4月 入学式

5月 講義、演習

6月

7月 技術テスト、前期試験
オープンキャンパス

8月 夏期休業

9月

10月 助産学実習

11月

12月 助産管理実習
実習報告会
冬期休業

1月 事例発表会
講義
後期試験

2月 国家試験受験

3月 修了式



附属病院での新生児蘇生



吸引分娩の介助演習



母親教室の学内発表



ベビーマッサージの演習



助産学専攻科修了生からのメッセージ

助産師 地元美月さん
(令和2年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務1年目

助産学専攻科では、講義・演習・臨地実習・研究・国家試験を1年間で実施しなければなりません。大変なことも多いですが、その分学ばずも多し、とても充実した毎日を過ごすことができました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの講義はリモートで実施されました。入学してすぐに助産学の専門的な講義が始まりましたが、学生9名に対して4名の先生方がいますので、分からない部分は丁寧に教えてもらう事ができました。

また、夏休みが終わると臨地実習が始まります。実習では、産婦さんへの関わり方などに悩み、自分自身の未熟さを感じました。しかし、産婦さんから「一緒に居てくれてよかった」と声を掛けてもらえたり、学生として少しずつできることが増えると、やりがいを感じて頑張ろうと思えました。実習は3ヶ月間と短いですが、私にとって一番成長できた期間だったと思います。

本学への皆さんの入学を応援しています。



助産師 早川稚乃さん
(平成28年度修了生)

和歌山県立医科大学附属病院 勤務5年目



わたしは助産学専攻科を卒業し、現在は和歌山県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センターで働いています。

助産学専攻科での1年間は毎日大変でしたが、わたしの助産師としての基礎が築け、同じ目標を持ったかけがえのない仲間に出会えた大切な1年でした。授業はグループワークが多く、学生間でのコミュニケーションや協力する大切さを学びました。その経験は、多くの方と関わる現在の

現場で活かすことができていると感じています。

働き始めて5年目となりますが、自分が妊婦健診や保健指導で関わった妊婦さんの出産に立ち会い、赤ちゃんと共に笑顔で退院していく姿を見送るときに、あらためて助産師の仕事にやりがいを感じます。

和歌山県立医科大学助産学専攻科で、皆さんが夢に向かって充実した学生生活を送れることを願っています。





入学金等（令和3年度）

	保健看護学部		大学院保健看護学研究科		助産学専攻科	
入学検定料	17,000円		30,000円		18,000円	
入学金	県内生	282,000円	博士前期課程	282,000円	県内生 (学内生含む)	169,200円
	県外生	423,000円	博士後期課程	282,000円	県外生	253,800円
授業料 (5月と11月に分納)	535,800円		535,800円		535,800円	

授業料等減免制度

経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者を対象に、授業料等の全額もしくは一部が免除される場合があります。

*希望する場合は、保健看護学部事務室に相談してください。

奨学金

- 日本学生支援機構
- 和歌山県立医科大学修学奨学金
- その他

*本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく高等教育の修学支援新制度の対象機関（確認大学）です。

表彰制度

他の学生の模範となる学生を卒業時に表彰します。

- 知事賞 / 成績優秀者を表彰
- 学長賞 / 成績優良で他の模範となる学生を表彰

きめ細かな学生サポート体制

オフィスアワー

学生のための時間を全教員が週に一度設け、学習指導や学生生活での相談などを受け、学生がきめ細やかな助言・指導を受けられる環境を提供しています。

カウンセリング

週に一度、外部のカウンセラーによるカウンセリングを開設しています。学習面や進路のことなど気軽に相談できます。

担任制

保健看護学部は、4年間の学生生活を担任教員がサポートします。自分のことをよく知ってくれている教員がいるので安心です。

大学生協



文具や書籍、菓子、飲料など多数揃えています



安くおいしい学食は学生の味方です

大学図書館

本学には、紀三井寺キャンパスに紀三井寺館、三葛キャンパスに三葛館、伏虎キャンパスには伏虎館という三つの大学図書館があります。学生は全ての図書館を利用できます。

保健看護学部がある三葛キャンパスに位置する三葛館は、約 63,000 冊の図書や CD・DVD などの視聴覚資料、約 1,000 種類の学術雑誌を所蔵しており、年間 1,000 冊程度の新しい図書が本棚に並びます。看護系だけでなく、医療系や一般の図書も豊富です。

さらに、学習や研究に必要な文献などを探するためのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックなどの電子リソースも利用でき、新しい知識を得るための環境が整っています。

グループ学習室や視聴覚コーナー、検索端末等を備えており、平日は 9 時から 22 時まで（夏期・学年末休業期間は 9 時から 17 時 30 分まで）、土曜日と試験前の日曜日は 10 時から 17 時まで利用できますので、じっくりと学習を深めることができるでしょう。

図書館三葛館ウェブサイト

<https://opac.wakayama-med.ac.jp/drupal/mikazura>

図書館三葛館 facebook ページ

<http://www.facebook.com/wmulmikazura>

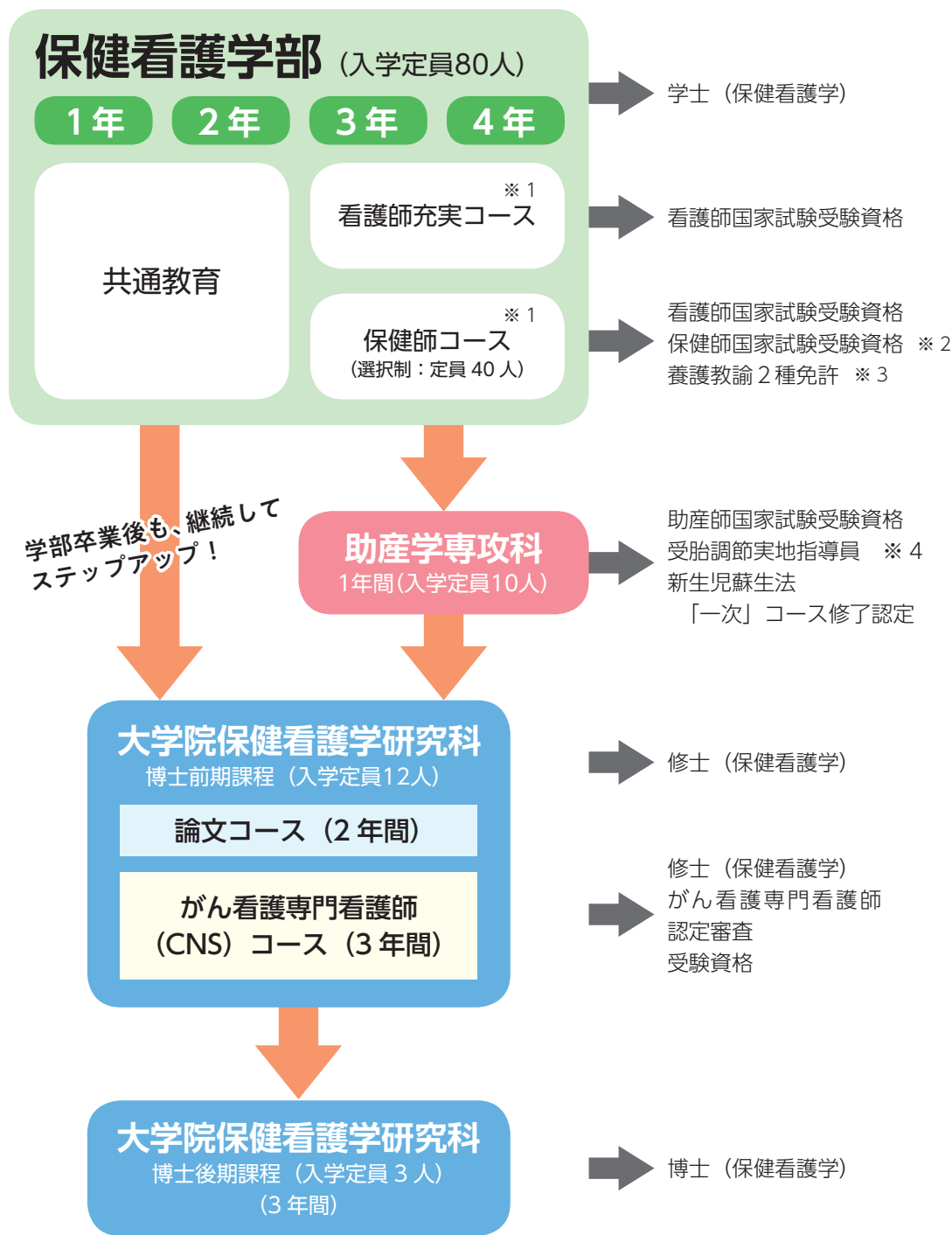


図書館司書が常駐しています。お探しの資料が見つからないときは気軽にご相談ください。





学位・資格取得によるキャリアアップを支援します



- ※1 看護師充実コースと保健師コースは一部履修科目が異なります。
- ※2 保健師コース修了者のみ受験資格があります。また、保健師免許は看護師免許がないと取得できません。
- ※3 保健師免許を取得後、都道府県教育委員会への申請を要します。
- ※4 都道府県知事への申請を要します。

国家試験合格率
(令和2年度)

きめ細やかな学生指導で毎年全国トップクラスの合格率

看護師
100%

保健師
100%

助産師
100%



関西を中心に看護職を社会に輩出しています

保健看護学部卒業後の主な就職先・進学先

	和歌山県内	和歌山県外	
就職	看護師	和歌山県立医科大学附属病院 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 和歌山県立こころの医療センター 海南医療センター 北出病院 紀南病院 公立那賀病院 国保野上厚生総合病院 国立病院機構和歌山病院 白浜はまゆう病院 日本赤十字社和歌山医療センター 橋本市民病院 国立病院機構南和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 角谷整形外科病院	大阪医科大学附属病院 大阪市立大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 大阪市立総合医療センター 大阪母子医療センター 大阪赤十字病院 大阪労災病院 北野病院 近畿大学病院 国立循環器病研究センター 国立病院機構大阪南医療センター 堺市立総合医療センター 社会医療法人弘道会なにわ生野病院 住友病院 淀川キリスト教病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院 神戸大学医学部附属病院 兵庫医科大学病院 兵庫県立こども病院 杏林大学医学部附属病院 東京女子医科大学病院 東京大学医学部附属病院 埼玉医科大学病院 北里大学病院 横浜市立医科大学附属市民総合医療センター 名古屋大学医学部附属病院 名古屋市立大学病院
	保健師	和歌山県・和歌山県警察 和歌山市・橋本市・有田市・御坊市・田辺市・新宮市 かつらぎ町・有田川町・湯浅町・美浜町 日高川町・由良町・白浜町・上富田町・太地町 ・北山村 一般社団法人 NS メディカル・ヘルスケアサービス	大阪府・大阪市・堺市・豊中市・貝塚市 ・泉佐野市・東大阪市・泉南市 田尻町・岬町 京都市・与謝野町（京都府）・兵庫県・姫路市・奈良県・三郷町（奈良県）・岡山市・檜枝岐村（福島県） 三菱樹脂株式会社
	養護教諭	和歌山県	大阪府
進学	和歌山県立医科大学助産学専攻科 和歌山県立医科大学大学院	神戸市立看護大学助産学専攻 神戸大学大学院 大阪市立大学大学院	
その他	青年海外協力隊		

大学院博士前期課程修了後の主な就職先

看護師	和歌山県立医科大学附属病院 白浜はまゆう病院 国立国際医療研究センター病院 慶應義塾大学病院 聖路加国際病院 北里大学病院 大阪精神医療センター
保健師	和歌山大学保健センター 大阪府

助産学専攻科修了後の主な就職先

助産師	和歌山県立医科大学附属病院 紀南病院 日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山ろうさい病院 国立循環器病研究センター 大阪市立大学医学部附属病院 大阪市立総合医療センター 関西医科大学附属病院 関西労災病院 堺市立総合医療センター 市立東大阪医療センター 社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院 清恵会病院 聖バルナバ病院 宇治徳州会病院 京都大学医学部附属病院 尼崎総合医療センター 加古川中央市民病院 奈良県立医科大学附属病院 済生会松阪総合病院 滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県長浜赤十字病院 名古屋市立大学病院 聖霊病院 石川県立中央病院 静岡県立こども病院 岡山中央病院
-----	---



山や海に囲まれた自然豊かな和歌山で

① 管理・校舎棟



事務室



看護実習室



食堂



学生ホール



中庭



保健看護学を通して自分の可能性を広げよう

② 図書館棟



図書館



1階 第5講義室、第6講義室



情報科学教室

④ 研究棟



大講義室

③ 体育館棟



体育館

⑤ 医学部三葛教育棟



- 天王寺～和歌山駅 JR 阪和線（快速）約 1 時間
- JR 紀三井寺駅下車 東口より 徒歩約 10 分
- JR 和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約 10 分
- 阪和自動車道 和歌山南 SIC より 車約 10 分



公立大学法人
和歌山県立医科大学保健看護学部
大学院保健看護学研究科
助産学専攻科

〒 641-0011 和歌山市三葛 580 番地 TEL 073-446-6700 FAX 073-446-6720
<http://www.wakayama-med.ac.jp/dept/hokenkango/index.html>

2021 年 5 月発行

